

1 単元名 わたしたちの暮らしを支える食料品工業

2 単元について

本学級は、計7名の児童で構成されている。本学級の児童は話好きで優しい児童が多い。
本単元では、前時までに発酵食品とは何か、納豆の売り上げが上がっているのはなぜか、納豆の生産工程の動画を見て、生産者がどのような思いで納豆を作っているのかをワークシートにまとめる作業までを行っている。本時では、前時までに学習したことを元に、タブレット端末を活用し、調べて分かったことをまとめるための方法として、4人で共同してポスター作り（Canva）を行う。ネットで生産者の思いを調べたり、ポスターにどのようなレイアウトでまとめるかを考えたりすることを通して、思考・判断・表現の力を身に付けられるようにする。

指導にあたっては、共同してポスター作りをする中で、コミュニケーションを取りながら、1つのポスターを作り上げるという経験をする中で、自己有用感を高めるようにする。また、タブレットを使ってまとめることで、知らない言葉を自分で調べたり、イラストを交えて作ったりすることができるよさを実感させたい。

3 児童の実態と個別目標

氏名	性別	単元における実態	単元における目標
A	男	1つの物事に興味をもつと、執着してしまう。 - グラフや資料から読み取ったことを、自分の言葉でまとめることが難しい。	- 今何をするべきなのか、学習の流れを見て確認することができる。 - キーワードを使って、調べて分かったことを自分の言葉でまとめることができる。
B	男	- できないと思ってしまうと、あきらめてしまうことがある。 1つの言葉がどのような意味をもつか考えることが難しい。	- 最後まであきらめずに友達と協力して活動することができる。 - タブレットで調べることで、動画や画像を見て考えを深めることができる。
C	男	- 自分の思いを友達に伝えることが苦手で、黙ってしまうことがある。 1つの言葉がどのような意味をもつか考えることが難しい。	- ワークシートに伝えたいことをまとめ、友達に伝えることができる。 - タブレットで調べることで、動画や画像を見て考えを深めることができる。
D	女	- 友達とのコミュニケーションの取り方が苦手で、孤立してしまうことがある。 1つの言葉がどのような意味をもつか考えることが難しい。	- 友達に優しい言葉をかけながら、協力して活動することができる。 - タブレットで調べることで、動画や画像を見て考えを深めることができる。

4 指導計画と評価（4時間扱い）

時	学習内容・活動	評価の観点			
		A	B	C	D
1	・発酵食品とは何か、納豆の売り上げが伸びている理由について話し合う。	・納豆の売り上げが伸びている理由をタブレットで調べ、ワークシートにまとめることができる。	・納豆の売り上げが伸びている理由をタブレットで調べることができる。	・納豆の売り上げが伸びている理由をタブレットで調べることができる。	・分からない言葉をタブレットで調べ言葉を理解することができる。
2	・納豆の生産工程の動画を見て、生産者がどのような思いで作っているのかをワークシートにまとめる。	・納豆の生産工程に関心をもち、出てきた疑問についてタブレットで調べることができる。	・納豆の生産工程の動画を見て、できるまでの流れを教師に伝えることができる。	・納豆の生産工程の動画を見て、できるまでの流れを教師に伝えることができる。	・納豆の生産工程に関心をもち、出てきた疑問についてタブレットで調べることができる。
3 (本時)	・調べたことをもとに、4人で協力して1枚のポスターにまとめる。	・調べて分かったことをキーワードを使って、自分の言葉でまとめることができる。	・タブレットで調べて理解したことを、友達と協力してポスターにまとめることができる。	・ワークシートに伝えたいことを書き、そこからポスターでまとめることができる。	・タブレットで調べて理解したことを、友達と協力してポスターにまとめることができる。
4					

5 本時の指導

(1) 個別目標

- A：調べて分かったことをキーワードを使って、自分の言葉でまとめることができる。
 B：タブレットで調べて理解したことを、友達と協力してポスターにまとめることができる。
 C：ワークシートに伝えたいことを書き、そこからポスターでまとめることができる。
 D：タブレットで調べて理解したことを、友達と協力してポスターにまとめることができる。

(2) 準備・資料

納豆の生産工程の掲示物、4種類の納豆（わらつと・きょう木・紙カップ・発泡スチロール）、キーワードの掲示物、ワークシート、タブレット4台（児童用）、プロジェクター、スクリーン、振り返りカード

(3) 展開

学習内容・活動	教師の指導・支援と評価（◎評価） ☆自己肯定感を高める手立て				
	全体	A	B	C	D
目標：消費者や生産者の視点から、納豆の製品に込められた生産者の思いを考え、調べて分かったことをポスターで表現することができる。		・調べて分かったことをキーワードを使って、自分の言葉でポスターにまとめることができる。	・タブレットで調べて理解したことを、友達と協力してポスターにまとめることができる。	・ワークシートに伝えたいことを書き、そこからポスターでまとめることができる。	・タブレットで調べて理解したことを、友達と協力してポスターにまとめることができる。
1 始めのあいさつをする。	- 姿勢を正して始められるように声かけをする。 - 明るく元気にあいさつをすることで、気持ちを学習に向けるようにする。 - 各自がめあてをもって活動できるように本時の個人目標を確認する。 - 学習の流れやめあてを掲示することで、活動の見通しがもてるようにする。				
2 本時の学習問題を知る。	- 前時までに学習したワークシートを見ながら、本時で学習することに対する意欲がもてるようにする。 - 納豆の生産工程の掲示物や実物を見せることで、イメージがもてるようにする。				
工場の人たちはどのよう 思いでなっとうを作っ てのだろうか。					
3 納豆の生産工程や納豆の売り上げが上 がっている理由など をもう一度振り返る。	児童のつぶやきを拾い、授業につなげることで、児童が関心をもってポスター作りができるよう促す。				
・健康によい食品だから売り上げが上 がっている。 ・安心して消費者に届 けられるよう繰り返し検 査を行う。	- アイデアが出せずに困っている姿が見られた時は個別に声かけをする。 - キーワードの掲示物を貼っておくことでその言葉を使ってまとめるように促す。 - 一人一人に明確な役割を伝えることで、進んで活動が行えるよう促す。 - 協力して活動している姿が見られた際は褒める。	- 最後まで静かに話を聞くことが大切であることを伝える。 - 自分がポスターにまとめる納豆の売り上げが上がっている理由に着目して考えられるようにする。	- 話をよく聞き活動することが大切であることを伝える。 - 自分がポスターにまとめる生産者が納豆を作る際に気を付けていること着目して考えられるようにする。 - 友達とアイデアを出し合い協力できるよう促す。 ◎タブレットで調べて理解したことを、友達と協力してポスターにま	- 話を聞く際にならずきながら話が聞けるように促す。 - 自分がポスターにまとめる納豆を作っている生産者に対しての感謝に着目して考えられるようにする。 - 友達とアイデアを出し合い協力できるよう促す。 ◎ワークシートに伝えたいことを書き、そこか	- 最後まで静かに話を聞くことが一度注目してから話す。 - 自分がポスターにまとめる納豆の生産工程の手順に着目して考えられるようにする。 ◎協力して活動できた際は称賛する。 ◎タブレットで調べて理解したことを、友達と協力してポスターにま
4 振り返ったことをもとに納豆の宣伝ポスターをつくる。					
(1) ポスターの作り方を説明する。 ・Canvaによるポスター作り					
(2) ポスターの役割分担を伝える。					
A さん：納豆の売り上げが上 がっている理由をまとめる。					
B さん：生産者が納豆を作る際に気を付けていることをまとめる。					
C さん：納豆を作ってい					

る生産者に対しての感謝の言葉をまとめる。 Dさん：納豆の生産工程の手順についてまとめる。 (3) 実際にポスターを作る。		でまとめることができる。 (観察・振り返りカード)	とめることができる。 (観察・振り返りカード)	らポスターでまとめることができる。 (観察・振り返りカード)	とめることができる。 (観察・振り返りカード)
5 本時の振り返りをする。 ・活動のふり返しを行い、よくできたことや分かったことを振り返りカードにまとめる。	・自分の言葉で振り返りができるように声かけをする。	☆相手のよいところを見つけられた際は、称賛することで自信をもたせる。	☆自分の感想やよかったところを堂々と発表できた際は、称賛することで自信をもたせる。	☆自分の感想やよかったところを堂々と発表できた際は、称賛することで自信をもたせる。	☆相手のよいところを見つけた際は、称賛すること自信をもたせる。
	・しっかりできたことを褒め、次時への意欲を促す。				
6 終わりのあいさつをする。	・姿勢を正してあいさつができるように声かけをする。 ・自分の思いを伝えたり、話をよく聞いたりして、意欲的に学習ができたことを称賛することで、今後の活動への意欲がもてるようにする。				